

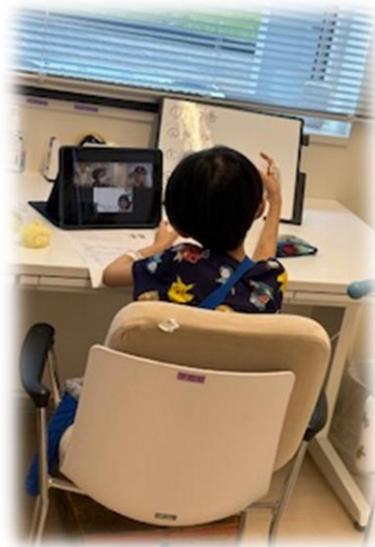
国立循環器病研究センター 1学期の授業の様子

「伝わるように伝えよう」

国立循環器病研究センターの小学部の児童数名で、週に1回10分程度、オンラインでつないで一緒に学習をしています。

1学期は主に、「伝わるように伝えよう」という活動に続けて取り組みました。まず、10個の物の中から一人一つずつその日のお題を選びます。相手に分かりやすく伝えるためにはどんな言葉を使えばいいか、どんな順番で説明すればいいかをよく考えながら、物は見せずに、言葉だけで形状や触り心地などを伝えます。他の児童は、何について説明しているのか考えてそれぞれ回答します。子どもたちは、今日は何を選ぶか、友だちが何を選ぶのかワクワクしながら取り組んでいます。毎回、終わるときは「またねー！」と手を振り合って、次回を楽しみにしている様子でした。

この中から
一つお題を選びます。
どれにしようかな？



「形は丸くて、触りごこちはつるつるで…」
友だちの説明を聞いて、自分もこうしてみようと説明の仕方や順番を工夫し、
どんどん上手に説明できるようになってきています。